

## メシア預言(旧約聖書に預言されたキリスト)

旧約聖書には、将来出現するメシアを認識できるいくつかの「メシア預言」が記されている。

メシアは、ヘブライ語のマシアハ (מָשִׁיחַ māšīaḥ) に由来し、「油注がれた者」の意で、そのギリシア語訳がキリストス Χριστός で、「キリスト」はその日本語的表記です。

☉創世記 3 : 15 お前 (→サタン) と女 (→教会、神の民)、お前の子孫 (→反キリスト) と女の子孫 (→メシア、イエス・キリスト) の間に／わたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕き／お前は彼のかかとを砕く。」→女の子孫がサタン (蛇) を打ち破るといふ預言と解釈される。

☉創世記 49 : 10 王笏はユダから離れず／統治の杖は足の間から離れない。ついにシロが来て、諸国の民は彼に従う。→「シロ」はメシアの象徴とされることがあります。

☉民数記 24 : 17 わたしには彼が見える。しかし、今はいない。彼を仰いでいる。しかし、間近にはない。ひとつの星がヤコブから進み出る。ひとつの笏がイスラエルから立ち上がり／モアブのこめかみを打ち砕き／シエトのすべての子らの頭の頂を砕く。→ヤコブの星はメシアの象徴とされます。

☉詩編 22 : 2、16～18 わたしの神よ、わたしの神よ／なぜわたしをお見捨てになるのか。なぜわたしを遠く離れ、救おうとせず／呻きも言葉も聞いてくださらないのか。

詩編 22 : 16～19 口は渴いて素焼きのかけらとなり／舌は上顎にはり付く。あなたはわたしを塵と死の中に打ち捨てられる。17 犬どもがわたしを取り囲み／さいなむ者が群がってわたしを囲み／獅子のようにわたしの手足を砕く。18 骨が数えられる程になったわたしのからだを／彼らはさらしものにして眺め19 わたしの着物を分け／衣を取ろうとしてくじを引く。→メシアの苦難と十字架刑を象徴する。

☉詩編 110:1 わが主に賜った主の御言葉。「わたしの右の座に就くがよい。わたしはあなたの敵をあなたの足台としよう。」「主はわたしの主に仰せられる。『わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、わたしの右に座っていなさい。』」→メシアの統治と神との関係を示している。

☉イザヤ書 7 : 14→メシア (=キリスト) は処女から誕生する

それ (→神を信じない者の頑なさの) ゆえ、わたしの主が御自ら／あなたたちにしるしを与えられる。

見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み／その名をインマヌエル (=神は我々と共にいる) と呼ぶ。

☉イザヤ書 9 : 5 ひとりのみどりご (→嬰兒) がわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君」と唱えられる。

☉イザヤ書 11 : 1～10→メシアはダビデの子孫から出る

(ダビデ王の父) エッサイの株 (→切り株) からひとつの芽 (→蘖※) が萌えいで／その根からひとつの若枝が育ち／その上に①主の霊がとどまる。②知恵 (の霊) と③識別の霊／④思慮 (の霊) と⑤勇気の霊／⑥主を知り、⑦恐れ敬う霊。彼は主を恐れ敬う霊に満たされる。目に見えるところによって裁きを行わず／耳にするとところによって弁護することはない。弱い人のために正当な裁きを行い／この地の貧しい人を公平に弁護する。その口の鞭をもって地を打ち／唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。正義をその腰の帯とし／真実をその身に帯びる。狼は小羊と共に宿り／豹は子山羊と共に伏す。子牛は若獅子と共に育ち／小さい子供がそれらを導く。牛も熊も共に草をはみ／その子らは共に伏し／獅子も牛もひとしく干し草を食らう。乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ／幼子は蝮の巣に手を入れる。わたしの聖なる山においては／何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。水が海を覆っているように／大地は主を知る知

識で満たされる。その日が来れば／エッサイの根は／すべての民の旗印として立てられ／国々はそれを求めて集う。そのとどまるところは栄光に輝く。

※蘗（ひこばえ）：「孫（ひこ）生え」の意味。伐採した草木の根株から出た芽。木の切り株や根元から生え出る若葉。またばえ、余蘗（よげつ）ともいう。



○イザヤ書 42：1～4 見よ、わたしの僕、わたしが支える者を。わたしが選び、喜び迎える者を。彼のの上にわたしの霊は置かれ／彼は国々の裁きを導き出す。彼は叫ばず、呼ばわらず、声を巷に響かせない。傷ついた葦（→A bruised reed）を折ることなく／暗くなってゆく灯心を消すことなく／裁きを導き出して、確かなものとする。暗くなることも、傷つき果てることもない／この地に裁きを置くときまでは。島々は彼の教えを待ち望む。

○イザヤ書 53：1～12→メシアはご自分の民に拒否され、辱められ、死へと導かれる  
わたしたちの聞いたことを、誰が信じえようか。主は御腕の力を誰に示されたことがあるか。乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように／この人は主の前に育った。見るべき面影はなく／輝かしい風格も、好ましい容姿もない。彼は軽蔑され、人々に見捨てられ／多くの痛みを負い、病を知っている。彼はわたしたちに顔を隠し／わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。彼が担ったのはわたしたちの病／彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに／わたしたちは思っていた／神の手にかかり、打たれたから／彼は苦しんでいるのだ、と。彼が刺し貫かれたのは／わたしたちの背きのためであり／彼が打ち砕かれたのは／わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって／わたしたちに平和が与えられ／彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。わたしたちは羊の群れ／道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。そのわたしたちの罪をすべて／主は彼に負わせられた。苦役を課せられて、かがみ込み／彼は口を開かなかった。屠り場に引かれる小羊のように／毛を刈る者の前に物を言わない羊のように／彼は口を開かなかった。捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか／わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり／命ある者の地から断たれたことを。彼は不法を働かず／その口に偽りもなかったのに／その墓は神に逆らう者と共にされ／富める者と共に葬られた。病に苦しむこの人を打ち砕こうと主は望まれ／彼は自らを償いの献げ物とした。彼は、子孫が末永く続くのを見る。主の望まれることは／彼の手によって成し遂げられる。彼は自らの苦しみの実りを見／それを知って満足する。わたしの僕は、多くの人が正しい者とされるために／彼らの罪を自ら負った。それゆえ、わたしは多くの人を彼の取り分とし／彼は戦利品としておびただしい人を受け。彼が自らをなげうち、死んで／罪人のひとりに数えられたからだ。多くの人の過ちを担い／背いた者のために執り成しをしたのは／この人であった。

○イザヤ書 61：1 主はわたしに油を注ぎ／主なる神の霊がわたしをとらえた。わたしを遣わして／貧しい人に良い知らせを伝えさせるために。打ち砕かれた心を包み／捕らわれ人には自由を／つながれている人には解放を告知させるために。

→ルカによる福音書 4：16～19

イエスはお育ちになったナザレに来て、いつものとおり安息日に会堂に入り、聖書を朗読しようとしてお立ちになった。預言者イザヤの巻物が渡され、お開きになると、次のように書いてある個所が目にとまった。「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、／主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、／捕らわれている人に解放を、／目の見えない人に視力の回復を告げ、／圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。」イエスは巻物を巻き、係の者に返して席に座られた。会堂にいるすべての人の目がイエスに注がれていた。

○エレミヤ書 23：5～6 見よ、このような日が来る、と主は言われる。わたしはダビデのために正しい若枝を起こす。王は治め、栄え／この国に正義と恵みの業を行う。彼の代にユダは救われ／イスラエルは安らかに住む。彼の名は、「主は我らの救い」と呼ばれる。

☉ダニエル書 7:13~14 夜の幻をなお見ていると、見よ、「人の子」のような者が天の雲に乗り、「日の老いたる者」の前に来て、そのもとに進み／権威、威光、王権を受けた。諸国、諸族、諸言語の民は皆、彼に仕え／彼の支配はとこしえに続き／その統治は滅びることがない。

☉ダニエル書 9:24~26→七十週の預言 (BC457年のエルサレム再建命令~AD34年の異邦人への宣教)  
お前の民と聖なる都に対して／七十週が定められている (→七十週の預言)。それが過ぎると逆らいは終わり／罪は封じられ、不義は償われる。とこしえの正義が到来し／幻と預言は封じられ／最も聖なる者に油が注がれる。これを知り、目覚めよ。(BC457年に) エルサレム復興と再建についての／御言葉が出されてから／油注がれた君の到来まで／七週あり、また、六十二週あって／危機のうちに広場と堀は再建される。その六十二週のと油注がれた者は／不当に断たれ／都と聖所は／次に来る指導者の民によって荒らされる。その終わりには洪水があり／終わりまで戦いが続き／荒廃は避けられない。

☉ミカ書 5:1~4→メシアはベツレヘムで生まれる

エフラタの(氏族)ベツレヘムよ／お前はユダの氏族の中でいと小さき者。お前の中から、わたしのために／イスラエルを治める者が出る。彼の出生は古く、永遠の昔にさかのぼる。まことに、主は彼らを捨ておかれる／産婦が子を産むときまで。そのとき、彼の兄弟の残りの者は／イスラエルの子らのもとに帰って来る。彼は立って、群れを養う／主の力、神である主の御名の威厳をもって。彼らは安らかに住まう。今や、彼は大いなる者となり／その力が地の果てに及ぶからだ。彼こそ、まさしく平和である。アッシリアが我々の国を襲い／我々の城郭を踏みにじろうとしても／我々は彼らに立ち向かい／七人の牧者、八人の君主を立てる。

☉ハバクク書 2:14 水が海を覆うように／大地は主の栄光の知識で満たされる。